

養老町食肉基幹市場建設候補地検証委員会（第3回） 会議録概要

日 時	令和6年12月16日（月） 9時00分～10時00分	
場 所	養老町役場 3階第4会議室	
内 容	1. 第2回検証委員会の振り返り 2. 答申書の作成に向けて (1) と畜場及び卸売市場の他施設事例との比較 (2) 検証委員会による評価と提案の整理 (3) 答申書（案）の校正 3. 今後のスケジュール 4. その他	
出席者	【養老町】 産業建設部新食肉基幹市場建設整備対策監 竹中 修 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長心得 杉野 雄士 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主査 伊藤 寛也 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主任 渡辺 祐貴 【委員等】 大阪大学 特任准教授 小出 直史 信州大学 副学長 林 靖人 九州大学 教授 馬奈木 俊介 朝日大学 准教授 中垣 勝臣 エヌエス環境株式会社 中村 稔 エヌエス環境株式会社 河辺 勇治	
会 議 内 容 要 約		
1. 第2回検証委員会の振り返り 事務局が意見を要約した資料について、委員やオブザーバーから補足や修正はなかった。		
2. と畜場及び卸売市場の他施設事例との比較 他自治体の事例を比較し、養老町の選定プロセスの妥当性や住民対応を比較。 （主な意見） ・類似事例（さいたま、飛騨）と参考事例（栃木、京都、静岡）を区分して整理。 ・他地域で住民から指摘があった部分は、養老町では対応することを前提として考えること。 ・飛騨の取り組み（住民との協議、地域への還元）を参考に、施設完成後の地域貢献や社会との接点は重要な視点であるため、それらを検討することを明記するとよい。		

- ・さいたまの事例での「道の駅」計画を参考に、養老町でも付加価値的な提案を検討する姿勢を示していくことを明記するとよい。
- ・他地域の事例を参考にしつつ+αの養老町の対応を位置づけるべきである。
- ・必要に応じて法規制や各地域の条例に関する情報も追加するとよい。
- ・項目別に資料を分かりやすく整理すること。

3. 検証委員会による評価と提案の整理

(主な意見)

- ・住民とのコミュニケーションは、町協議会での内容も含め以前より行っていたということが読み取れないため、誤解を招かないように以前より住民とのコミュニケーションを行っていることがわかるようにするべきである。
- ・行政用語では、住民の捉え方が様々であるため、目的ベースで表現してもよい。

4. 答申書(案)の校正

答申書の提出となる1月下旬までに各委員がチェックし、加筆修正を行うこと。

5. 今後のスケジュール

資料をアップデートするとともに、1月下旬から2月中旬に町長への答申書の提出ができるように進め、日程調整を行うこと。